



主要地方道大船渡綾里三陸線 赤崎工区



遊覧船「宮古うみねこ丸」 写真提供：岩手県北自動車(株)



高田松原津波復興祈念公園

新しいふるさと岩手・三陸の 創造を目指して

復興の歩み (2022年1月~12月)

主な出来事

2月 5日	一般国道281号 下川井工区開通
8日	「いわての復興教育」絵本『てとてをつないで』発表
3月 11日	東日本大震災津波 岩手県・大槌町合同追悼式開催
25日	一般国道340号 葉山~恵蘇(えそ)工区開通
29日	一般国道342号 白崖(しらがけ)工区開通
4月 1日	宮古港の出崎(でさき)地区に「しおかぜ公園」オープン
15日	主要地方道大船渡綾里三陸線 赤崎工区開通
7月 9日	第73回全国植樹祭いわて2023 1年前記念イベント開催
17日	遊覧船「宮古うみねこ丸」就航
28日	一般県道丸森権現堂線 下船渡工区開通 ※県が整備を進めた復興道路などが全て開通
8月 27日	「いわて復興道路フェスタ~岩手がかもっと、近くなる!~」開催
9月 12日	東日本大震災津波伝承館が来館者数60万人達成
25日	東日本大震災津波伝承館開館3周年・震災語り部等ガイドサミット開催
11月 5日	陸前高田市立博物館11年7カ月ぶりに開館
7日	令和4年度防災・伝承セミナーin岩手開催

東日本大震災津波を語り継ぐ日

県は、条例で3月11日を「東日本大震災津波を語り継ぐ日」としました。震災により亡くなった多くの尊い命に追悼の意を表し、震災の教訓を伝承するとともに、これまでの復興に向けた歩みの中で得られた多くの絆を大切に、一人ひとりの大切な人に想いを寄せ、ふるさと岩手を築いていくことを誓う日です。

第73回全国植樹祭いわて2023

「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」をテーマに、2023年6月4日に『第73回全国植樹祭いわて2023』を開催します。これは森林や緑に対する理解を深めるために、毎年開催されている国土緑化運動の中心行事で、天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎えます。

大会を通して県民総参加による森林づくりと森林資源の循環利用を進め、森林の恩恵を広くアピールするとともに、復興に取り組む姿を国内外へ発信します。

【開催日】2023年6月4日(日)
【会場】高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)

第73回 全国植樹祭 いわて2023

QRコード: ホームページはこちら, Twitterはこちら

東日本大震災津波から、本年3月11日で12年となります。改めて、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の誠を捧げます。

岩手県は、東日本大震災津波からの復興に当たり、「いのちを守り 海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」を目指す姿とし、国内外から多くの御支援を頂きながら、県民一丸となって復興に取り組んできました。

今後、残る社会資本整備を早期に進め、被災者のこころのケアや新たなコミュニティ形成の支援、主要魚種の水揚げ量減少

対策や水産業の担い手確保、商業の販路回復や従業員の確保など、被災地の実情を踏まえた対策に取り組み、「誰一人取り残さない」という理念の下、三陸のビルド・バック・ベター(より良い復興)を進めていきます。

本年6月には、天皇皇后両陛下の御臨席の下、高田松原津波復興祈念公園で第73回全国植樹祭を開催します。多くの方々に岩手の復興の姿を御覧いただき、これまでの御支援への感謝を改めてお伝えしたいと思います。

3月11日は、「東日本大震災津波を語り継ぐ日」です。復興の歩



岩手県知事 達増拓也

みの中で得られた多くの絆や、人と人が支え合うことの大切さを胸に、東日本大震災津波の教訓を語り継ぎ、一人ひとりの大切な人に想いを寄せながら、力を合わせて、ふるさと岩手を築いていきましょう。

東日本大震災津波から12年を迎えて

表紙の人



さとうあき 佐藤千亜妃さん(ミュージシャン)

4人組バンド「きのご帝国」(2019年5月活動休止)でボーカル、ギター、作詞・作曲を担当。現在はソロで活動中。他のアーティストへの楽曲提供なども手掛ける。第73回全国植樹祭いわて2023のテーマソング「風に抱かれて」を作詞・作曲・歌唱。岩手県出身。

contents

【特集1】震災から12年、いわての復興の取り組み
新しいふるさと岩手・三陸の創造を目指して p01

働くならIWATE p05

【復興キラリ】
アパッセたかた p06

【特集2】新型コロナウイルス感染症対策
体調不良時に備えた事前準備を! p07

【教えて!いわて県民計画】
DXの推進 p09

【しあわせレシピ】
ワカメとツナのパペロンチーノ風パスタ p10

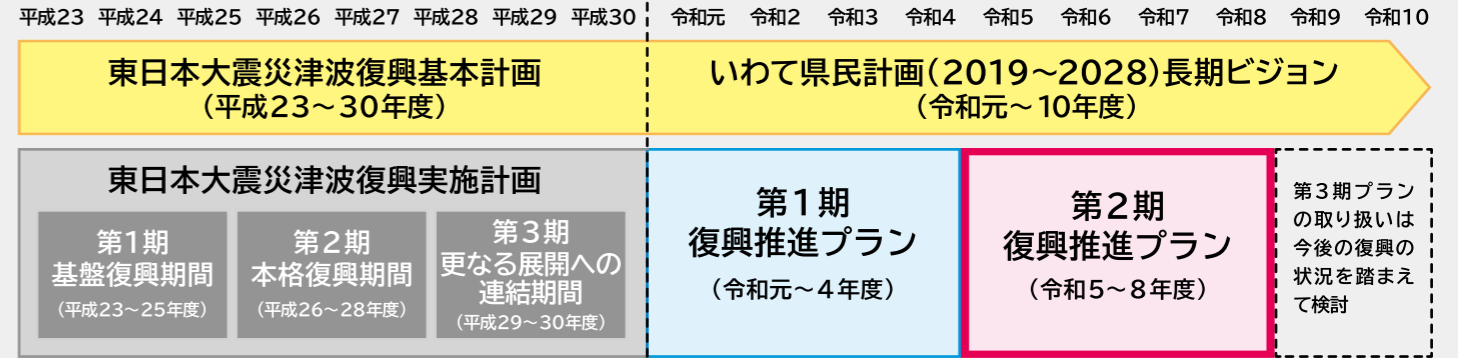
4広域振興局からのお知らせ p11

岩手県からのお知らせ p13

【NEXT STARS】
輝く岩手の若者たち!
読者アンケート&プレゼント 裏表紙

当誌に掲載されている情報は、2023年2月1日現在のものです。新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況によっては、掲載した内容に変更が生じる場合があります。

被災者一人ひとりに寄りそう復興を



第2期 復興推進プラン (令和5～8年度)

これまでの復旧・復興の取り組みの成果と課題を踏まえ、県は、令和5年度からの4年間を計画期間とし、第2期復興推進プランを策定します。一人ひとりの幸福を守り育てることを基本に、「誰一人として取り残さない復興」を理念として掲げながら、三陸のより良い復興の実現のために新たな取り組みを進めていきます。

第2期復興推進プランでは、コミュニティ形成支援や震災津波の伝承・発信など、ソフト事業を中心に中長期的に取り組むべき施策のほか、復興道路を生かした新たな産業振興や水産業の再生に向けた施策、国内外との交流を活発化する施策などを盛り込み、「新しい三陸の創造」に取り組んでいきます。

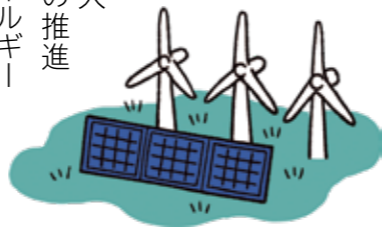
※計画内容は2023年2月1日時点の案です。

より良い復興～4本の柱～

I 安全の確保

災害に強く安全で安心な防災のまちづくりと交通ネットワークの構築を進めます

- 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に備えた地震・津波対策の推進
- 災害に対応できる再生可能エネルギーの導入促進
- 放射線影響対策の推進
- 関係機関の連携による防災教育の推進
- 災害に強い道路ネットワークの構築
- 港湾の利活用促進



II 暮らしの再建

お互いに支え合いながら安心して心豊かに暮らせる生活環境の構築を目指します

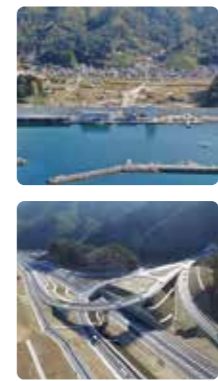
- 被災者の生活の安定に向けた相談対応
- 県内就業やU・Iターンの促進などによる人材確保の推進
- 適切な周産期医療提供体制の確保
- 専門的なこころのケアの継続
- 県内全ての学校での「いわての復興教育」の推進
- 住民が主体となったコミュニティの形成や活動の定着に向けた取り組みへの支援



より良い復興～4本の柱～

I 安全の確保

- 海岸保全施設は、計画した142カ所のうち140カ所で整備完了
- 復興道路は、計画延長35.9kmの全てが開通
- 復旧した大船渡港のコンテナ貨物取扱量が2021年に過去最高を記録



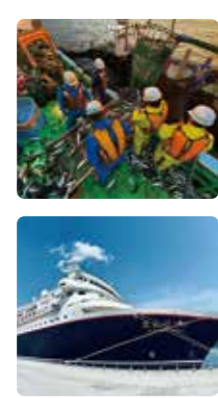
II 暮らしの再建

- 災害公営住宅の整備完了
- 「いわて被災者支援センター」における関係機関や専門家などと連携した相談支援
- 「岩手県こころのケアセンター」などのケア生活支援相談員などによるコミュニティの形成支援



III なりわいの再生

- 漁船や養殖施設などの復旧支援
- 地域水産業の担い手の育成
- 製材工場や合板工場などの復旧整備支援
- 中小企業などの事業再開支援
- 復興の動きと連動した誘客促進や観光振興



IV 未来のための伝承・発信

- 東日本大震災津波伝承館の開館
- 伝承館での展示などを通じた震災津波の事実と教訓の発信
- 防災推進国民大会2021の開催など復興に取り組む姿と支援への感謝の発信



III なりわいの再生

地域のなりわいを再生し、地域経済の活性化を図ります

- 新たな漁業・養殖業の取り組みの推進
- 生産性・市場性の高い園芸産地の形成
- 被災地の中小企業者の販路開拓や売上増加に向けた取り組み支援
- 高鮮度を売りとした遠隔地向けの商品の販売展開への支援
- 新たな交通ネットワークを踏まえた企業誘致の推進
- 復興ツーリズムの推進



IV 未来のための伝承・発信

震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会の実現を目指します

- 東日本大震災津波伝承館を拠点とした震災津波の事実・教訓の伝承に関する取り組みの推進
- 「いわて震災津波アーカイブ・希望」の活用促進
- 震災ガイドの交流促進や育成支援
- フォーラムの開催などを通じた県内外への復興の姿の発信
- 県内の震災伝承施設などの情報発信による震災津波の風化防止
- 県内外の震災伝承施設などと連携した情報発信による三陸地域への周遊促進

